第 8 4 9 回

定例教育委員会会議録

日 時 平成 3 0 年 9 月 2 7 日 (木) 1 3 : 3 0 ~

場 所 益田市役所 A会議室

益田市教育委員会

第849回 教育委員会定例会

招集年月日 平成30年9月27日（木）13時30分～

招集場所 益田市役所 A会議室

議事日程

第1 会議録の承認

第2 教育長報告

第3 議題

報第36号 益田市学校給食における異物混入について

報第37号 平成30年9月益田市一般会計補正予算について

報第38号 第531回益田市議会（定例会）一般質問について

第4 その他

(1) 情報提供

- ・史跡益田氏城館跡活用ワークショップの開催について
- ・平成30年10月学校給食献立について

(2) その他

出席者

教育委員会

教 育 長
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員

柳 井 秀 雄
渡 辺 隆
中 野 純
舟 橋 道 恵
村 上 三 恵子

事務局職員

教 育 部 長
ひとづくり推進監
教 育 総 務 課 長
学 校 教 育 課 参 事
文 化 財 課 長
人 権 ・ 同 和 教 育 推 進 室 長
匹 見 分 室 長
社 会 教 育 課 長 補 佐
教 育 総 務 課 長 補 佐
教 育 総 務 課 主 任

武 内 白
大 畑 伸 幸
山 本 裕 士
城 市 博 明
木 原 光
石 田 公
佐々木 厚 造
松 本 泰 典
藤 本 美 香
中 田 香 織

柳井教育長 時間となりましたので、第849回定例教育委員会を始めさせていただきます。

第1 会議録の承認

柳井教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第2 教育長報告

柳井教育長 それでは、主なものについて報告いたします。

まず、8月30日になりますが、歴史を活かしたまちづくり検討委員会がありました。歴史文化基本構想の策定を目指して検討を重ねてまいりましたが、最終段階に入りまして、先日、EAGAで報告会を行いました。この報告会では、福井県小浜市の教育委員会の方にお越しいただき、日本遺産に認定された鯖街道を中心とした歴史を活かした町おこしについて講演していただきました。

続いて、3日には委員の皆様方にも参加していただきました少年の主張益田市大会がありました。

中学生が一生懸命に自分の思いを述べる中で、もっとたくさんの聴衆がいたら良いと感じましたが、先般、保護司会の方からも同じようなご意見をいただきまして、もっと周知をしてほしいという要望がありました。この話を事務局の学校にお伝えしたところ、いただいた意見を来年から活かしていきたいという話になりました。

せっかくの機会ですので、子ども達の思いを多くの人に聞いていただきたいと思います。

6日、7日、10日には一般質問がありましたが、これにつきましては、後ほど報告させていただきます。

17日には最後の益田氏城館跡整備検討委員会がありました。七尾城、三宅御土居の一体的な史跡整備についての計画を検討する会議でしたが、昨年度2回、今年度2回開催いたしました。

この益田氏城館跡整備の普及啓発事業として、10月28日に市民の皆さんと一緒に七尾城跡で草刈りなどをするワークショップがあります。この中では講師をお招きしまして、七尾城の特徴などを話していただく予定となっております。

21日には学校再編推進協議会があり、鎌手中学校の再編に関わる協議を行いました。

25日には臨時小中学校校長会を開催いたしました。益田市教育委員会が主催して、益田市の学力、全国学力状況調査結果がここ数年、県平均を下回っている状況をしっかり受けとめて、何が課題であるの

か、それぞれの学校での成果を持ち寄って、全学校が一体となって考えていく会になりました。話し合う時間が少なかったですが、一つのきっかけづくりになったと思います。

報告は以上となりますが、ご質問はありますか。

舟橋委員

21日の学校再編推進協議会ですが、鎌手中学校と東陽中学校の統合については、現在、協議中ということですよ。

私がある会議に出席した際に、統合について決定しているような話をされておられる方がいらっしゃいましたが。

山本課長

統合に向けての同意書は出ております。ただ、その同意書が出た後、最終的には覚書を結んでいかないといけません。

現在、地元から通学に関するいろいろな要望が出ており、協議を行っております。この協議が整いましたら正式に覚書を交わし、統合が決定することとなりますので、現段階においては、統合について決まったということではございません。

舟橋委員

私は、その時に言う立場でもなかったのですが何も言わずに聞かせてもらっていましたが、当然の如く、決まったような話をされておられました。

また、私が鎌手小学校の入学式に出席した際にも、統合について状況を知らない方がおられました。

地域の方達にも全てが伝わっている状況にないということも意識しながら、細心の注意を払い、他の人に伝える時にはまだ決定ではなく、協議を重ねている段階ですということをはっきりと伝えていかないといけないと思いましたが、お話させていただきました。

柳井教育長

いろいろな人がいろいろな事を仰いますが、教育委員会では統一した対応をしております。

それではよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

第3 議題

○報第36号 益田市学校給食における異物混入について

柳井教育長

報第36号益田市学校給食における異物混入についてお願いします。

山本課長

既に委員の皆様には報道発表前に第一報ということでお知らせしておりますが、8月31日それから9月4日と1週間のうちに2件も学校給食に異物の混入がありました。

児童生徒、保護者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

まず、8月31日の発生状況は、高津中学校の職員室において、職

員用の食缶から配食している際、盛り付けたご飯の中に異物を発見したということでございます。

発生後の対応では、昨年策定しております危機管理マニュアルに沿って対応いたしました。まず、発見した職員は管理職へ報告し、管理職は直ちに高津学校給食センターへ連絡、各クラスの確認を行った上で教育委員会へ連絡しております。

異物の内容につきましては、長さ4ミリの金属片で、成分検査の結果、金属であり、センターで使用している炊飯釜と同一の成分であるということが判明したところでございます。

混入した原因ですが、調理器の製造業者及び納入業者、それから調理委託をしている業者で炊飯施設の現場確認をした結果、炊飯釜が炊飯設備の金属部分と接触し、釜表面の金属が削れ、表面に付着していた金属が、釜をひっくり返す反転機にかけた際、ご飯に混入した可能性が非常に高いということでした。

6ページの写真を見ていただくと分りやすいと思いますが、炊き上がった炊飯釜が1、2、3、4の順にレールに乗って流れていきます。

炊飯された釜がレールに乗って斜面を進んでいきますが、1の写真の丸で示しているストッパーに当たって止まった後、2の写真のところで炊飯釜の中のご飯を混ぜ、次に3の写真の反転機で釜をひっくり返して中のご飯を出します。

今回の高津中学校の異物混入は、ストッパーのところで付着した金属片が、反転機で釜をひっくり返した時に混入したものと判明しました。

教育委員会では、受配校に対し、喫食の中止と児童生徒の健康観察を依頼しました。

また、再発防止策を講じるまでの間、ご飯の提供を中止することとし、受配校全ての保護者へお詫びとご飯の持参のお願いについて文書を送付いたしました。

次に、再発防止策として、炊飯釜の研磨を業者へ依頼し、実施したうえで、炊飯釜と接触するストッパーへのシリコンゴム等の設置、それから釜が移動するレーンの傾斜を緩やかにしてストッパーとの衝撃を緩和するなどの措置を講じました。また、炊飯室内の徹底清掃と消毒も実施いたしました。

続きまして、9月4日の安田小学校で発生した異物混入について説明いたします。

発生状況ですが、児童が梨を食べようとしたところ、梨に異物が付

着していることに気づいたということです。

学校では児童から報告を受けた担任が直ちに管理職へ報告、管理職は校内放送で喫食の中止を伝え、児童の健康観察をし、教育委員会へ報告いたしました。

異物の内容につきましては、長さ5ミリの繊維状の金属と疑われるもので、成分検査依頼中と資料に記載しておりますが、9月6日に島根県環境保健公社から分析結果が出まして、ポリエステルということが判明いたしました。

教育委員会では、各学校に健康観察の依頼をし、梨を切った揚げ物焼き物室の使用を禁止いたしました。

このことに伴い、9月5日、7日の献立を一部変更して給食を提供することを決定し、受配校全ての保護者にお詫びと献立の一部変更について文書でお知らせいたしました。

混入した原因が特定できておりませんが、再発防止として、調理した揚げ物焼き物室の徹底清掃と消毒、納入業者への注意喚起、調理従事者への衛生管理、危機管理指導の徹底、学校では配膳室内の衛生管理の徹底をお願いいたしました。

また、給食配膳の際に、児童生徒及び教職員の衣服からの異物混入といったことも考えられますので、その防止策として各学校へ粘着ローラーを配布し、衣服に粘着ローラーをかけるよう依頼いたしました。

目視確認等の徹底は当然ですが、再発防止策を徹底することにより、9月10日から完全給食の提供を再開いたしました。

6月にもこういった案件があり、3回目ということで非常に危機感を感じているところですが、給食関係者それぞれが危機管理意識を高めて、こういった異物混入を抑制できるように今後努めてまいりたいと思います。改めてお詫びを申し上げまして報告とさせていただきます。

柳井教育長 委員の皆様方にもご心配をおかけいたしまして申し訳ありませんでした。

それでは、ただ今の報告についてご質問がありますでしょうか。

渡辺委員 新しい施設であっても事故は起こるんだと感じたところですが、高津中学校の件につきましては、原因が判明したため、これに対処できるわけですが、問題なのは原因が不明な場合です。山本課長が話されたように危機感をもって対応するしかないとは思いますが、改めて、危機意識を高められるような指導をしていただきたいと思います。

山本課長 危機管理というのは、単に職員だけではなく、上に立つ人の危機管理意識がいかにかいによって変わってくると思っておりますので、

調理業者、配送業者、学校の各管理職の方に対して、危機管理の研修会をできるだけ早いところで行うことを考えております。

舟橋委員

このような事故は、子ども達、教職員、調理員の方々の危機意識が高まってきたからこそ見つかったという部分も大いにあると思います。また、情報をきちんと開示していくという教育委員会の姿勢も良いと感じております。

ただ、学校の給食配膳時に衣服にローラーをかけるというのはどこまで意味があるのかと思います。また、やるのであればずっとやらないと意味がないと思いますが、大人数ですのでローラーの消耗も激しいと思います。このあたりは考えておられるのでしょうか。

学校にそこまでさせないといけないものなのか、本当に必要なことを学校と話し合っていくことが大事だと思います。

山本課長

責任の押し付け合いではなく、私達が目指すのは、子ども達の口に入るまでのところでこのような事故を無くしていくということです。

今までも学校から混入したという案件がありましたので、給食に関わる人が共通の危機管理意識を持つということが非常に重要になります。安全は何よりも優先されるべきことですので、そういった意識に立って進めていきたいと考えております。

中野委員

安全安心な給食ということで、管理体制がしっかりされておられ、学校の対応等を拝見する限り迅速な対応が図られていると感じております。

保護者的な立場から申しますと、完全給食の再開時期が9月10日ということで、5日間ご飯を持参しないといけないということがありました。中には、給食があることで助かっているご家庭もあると思いますので、給食が中止になった時の補償といたしますか、保険的なものも今後検討していただきたいと思います。

山本課長

現在、委託業者とそういったところの話をさせていただいております。

柳井教育長
教育委員

それではこの件についてはよろしいでしょうか。

＝全員了承＝

○報第37号 平成30年9月益田市一般会計補正予算について

柳井教育長

それでは続いて、報第37号平成30年9月益田市一般会計補正予算についてお願いします。

山本課長

教育総務課からは、予算要求段階で報告させていただいておりました学校のブロック塀の改修に係る予算について議会の承認をいただきました。

- 大阪北部地震に伴う学校施設の緊急点検をした結果、高津小学校2カ所、西益田小学校1カ所に建築基準法に適合していない塀がございましたので、これらを撤去し、フェンスを設置いたします。
- 武内部長 学校教育課からは3件ありまして、1件目はいじめ・不登校等対策推進事業費になりますが、これにつきましては国の事業に対して申請し採択されたものを補正要求し、承認されました。
- それから、2件目、3件目は小学校費と中学校費の学校図書館図書整備事業費について、図書購入費として寄付していただきましたものについて補正要求し、議会で承認されました。
- 大畑推進監 社会教育課からは、益田東高校が甲子園に出場したことによる全国大会等出場激励費の補正と県の事業に申請しておりましたつろうて子育て推進事業について採択されましたので増額補正要求し、承認されました。
- 木原課長 文化財課からは歴史を活かしたまちづくり魅力発信・調査研究事業費について国庫補助金の確定による財源の見直しと事業内容の一部見直しによる補正要求をしており、承認されました。
- また、市内遺跡発掘調査等事業費については、スクモ塚古墳群に隣接する市道の改良工事が進められておりますが、その工事部分と古墳との接点についての確認調査にかかる費用について補正要求し承認されました。
- 柳井教育長 それぞれの課から説明がありましたが、ご質問等ありましたらお願いいたします。
- 渡辺委員 先ほど、いじめ・不登校対策等推進事業費について説明を受けましたが、不登校の児童生徒につきましてはクラスジャパンに全面的に委託をするような形で進めておられるのでしょうか。
- 城市参事 全面的ということではなく、不登校児童生徒の受け皿については、ふれあい学級もありますので、クラスジャパンでは、それさえも難しい、ひきこもり等でなかなか家から出ることもできない子ども達に、ネットワークを通じて学習の保証のためのものを提供していくことを考えております。
- 舟橋委員 いじめ・不登校等対策推進事業費の中で、会場借上料が計上されておりますが、拠点となる場所を準備されているのですか。
- 城市参事 この事業は、文部科学省の事業でいじめ対策・不登校支援等推進事業委託金から支援をいただいておりますが、その公募条件に広く普及させる活動を行うということが義務付けられておりますので、グラントワをお借りしてクラスジャパンの活動について広く周知していくことを考えており、その会場の借上料について計上しております。

- 舟橋委員 広く伝えて、皆さんの理解を得るということですね。
借上料については分かりましたが、いろいろ支援をしていく拠点というのはどこになりますか。
- 城市参事 益田市の受け皿としてクラスジャパンに拠点とさせていただきます。そして、子ども・若者支援センターに補助員を配置して対応していくことを考えております。
- 村上委員 同じく、いじめ・不登校対策推進事業費の関係ですが、他町からの受入れについて補正の目的のところに記載されておりますが、そういった事例があるのでしょうか。
- 城市参事 益田市であれば適応指導教室がありますが、こういった教育支援センターは益田管内では益田市しかありませんので、鹿足の子ども達が不登校になった際に適応指導教室へ通いたいということになれば、益田市の適応指導教室に通うことになります。
こういった方は現在2名おられます。過去には、益田市に住んでいる子どもさんが浜田市の適応指導教室に通うということもありました。
- 柳井教育長 それではこの件につきましてよろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

○報第38号 第531回益田市議会（定例会）一般質問について

- 柳井教育長 それでは続きまして、報第38号第531回益田市議会（定例会）一般質問についてお願いいたします。
- 武内部長 今回一般質問で13人の方の質問がございました。そのうち教育関係が7名ということで、質問順に整理させていただいております。
寺戸真二議員からは、トイレ整備についての質問がありましたが、現在、学校の個別整備計画を立てることになっておりまして、その中で準備を行っており、耐震化、空調設備が最優先ですが、トイレの整備についても整備計画を立てて対応していくということで回答しております。
それから、久城恵治議員からは、歴史を活かしたまちづくり、歴史文化基本構想の現状について質問がありました。詳しくは答弁内容をご覧くださいと思います。
次に、三浦智議員からは、ひとづくり協働構想と学校再編のことについての質問がありました。
ひとづくり協働構想につきましては、市長の答弁で市全体の仕組みとして一体的なひとづくり体制の構築に向けて試行錯誤を繰り返しながら進めていくと答弁をしております。
学校再編の質問では、桂平小学校の建替えなどもあり、再編の方向

性が変わったのかという質問をいただきました。

これにつきましては、今の地域とともに子ども達を育てるというような意味では大きくは変わってきており、そういう中で学校を拠点として地域づくりやひとづくりを進めるというところの答弁をしたところでございます。

今年度、学校再編計画を策定しますので、その辺も含めて再編審議会に諮問し、協議しながら計画を策定していきたいという答弁をいたしました。

それから、大久保五郎議員からは、学力育成について質問がございました。これに対して、定例教育委員会でも今の状況につきましてはご説明をしておりますが、同様の趣旨で答弁をいたしました。

松原義生議員からは、色覚特性の子どもに対する対応というところで質問をいただきました。

色覚特性の検査等は希望によって行っているのですが、全体の把握をしておりませんが、学校としては各クラスに1名はいるという視点でチョークの使い方などを考えながら対応しているということを答弁しております。

それから、中島守議員からは、遠距離通学補助についての質問をいただきました。

遠距離通学の補助については、小学生では4キロが一つの基準になっております。その中で3キロにできないかという質問でしたが、厳しい財政事情、4キロを基準という国の基準等々もある中でなかなか難しいということを答弁いたしました。

また、それから同じ通学班で同一の対応ができないかということでございましたが、同一の通学班でも通学距離が数百メートル違う場合もありますのであまり適当でないということをお答えしております。

また、美都地区では3キロが基準になっておりますが、これは過去の学校統廃合等々の経過の中で決まっておりますので、美都に合わせて3キロというのは、難しいという答弁をいたしております。

最後に、河野利文議員からエアコンの導入について質問がありました。まず、早期に導入ができないかということで、国の補助も受けながら、早急に導入したいという気持ちは持っているということをお答えしており、家庭用エアコンで対応して早く設置することはできないかという質問では、家庭用エアコンというのは設備上備品になって市債の発行ができないというところで難しいため、国の交付金等を活用した事業の中で整備をしていきたいという答弁をしたところでございます。

渡辺委員

簡単ですが、詳しくはこの概要でご確認いただきたいと思います。

今回の一般質問の件につきましては、7名の方が質問に立たれたということで、議員さん達が教育問題に対して関心を持つというのはとても良いことだと感じているところです。

児童生徒の学力向上のために、これから様々な努力をしていかないといけないと感じておりますが、先日、孫が父親に勉強を教わっている姿を見ていて、家庭の中で子ども達の宿題を見るなど学習の支援をするということが学力向上に深く関わっているのではないかと感じました。

学校でも保護者の方に子どもの宿題や勉強の支援をするということをご指導していただければ良いと思いますので、実施できるのであれば実施していただきたいと思います。

城市参事

渡辺委員さんがおっしゃることは、私も強く思います。

一昨年度、福井県に視察に行った時にも、リビング学習といって子どもが居間で勉強をしており、親の目の届く範囲、見える範囲で勉強しておりました。分からない時にはすぐに聞ける状況を作っているというところで成果を上げている部分もあるというのを見てきました。

昨年度からですが、全ての小学校において、入学前の就学時健診の時に、保護者に対して家庭学習の進め方や家庭学習習慣を作っていくことのお願いや提案をさせていただいております。

保護者からは、昔の方法とは違うから勉強の教え方が分からないというような意見がありましたが、大事なのは、その場で問題を解消できることですので、昔の方法でも構わないということをお伝えしました。

今年度も10月から就学時健診を始めますので、この活動をしていこうと考えています。

舟橋委員

この間の臨時校長会の話になりますが、学校では学力向上推進委員を決めておられ、各学校で学力向上の推進に取り組んでいるということや、情報交換では、校長先生方がそれぞれ意見を出されて話し合っておられ、非常に良かったと感じました。

議会でも色覚の質問がありましたが、臨時校長会でいただきました資料の中に家庭へ配布するプリントがありました。配布する資料についても、保護者さん達の目に留まるような視覚的な効果について少し意識したり、毎年同じものを配布するのではなく、時々色を変えるなどしながら、保護者さんの意識を高めていってほしいと思います。その中でも、色覚に特性がある方に対応しながら、より良いアプローチをしていただきたいと思います。

城市参事 今回の配布するプリントについても色覚特性に配慮した色を選んで作っております。保護者さんに配布するプリントもたくさんありますので、目立つようにあえて赤系統のものを中心に使用しております。

村上委員 弱視などのある方は、色もそうですが、彩度というか、濃い色と薄い色の差がはっきりしているとより目に入りやすいというのがあります。グレーと黒のような似た色の組み合わせですと非常に色の区別がつきにくいということもあります。

子どもさんや保護者さんにもいろいろな方がいらっしゃいますので、ご意見を聞きながら、誰にとっても見やすいものになれば良いと思いますので、よろしく願いいたします。

城市参事 もう少し工夫してみようと思います。

柳井教育長 それではよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

第4 その他

(1) 情報提供

○史跡益田氏城館跡活用ワークショップの開催について

柳井教育長 それでは、第4その他の情報提供に参りたいと思います。史跡益田氏城館跡活用ワークショップの開催についてよろしく願いします。

木原課長 お手元にカラーのチラシをお配りしております。

昨年から三宅御土居と七尾城の益田氏城館跡の整備活用のビジョンとして整備基本計画の策定を進めてきておりますが、それに関連付けて、七尾城に市民の目を向けたいということで、ご覧の内容でワークショップを開催いたします。

登ったことのある人もあまり行くことのない細長い山城の先端の出窓まで人が行けるように、小さい木を切ったり枝を刈ったりする程度の作業をしながらルートを開いていこうと計画しております。

七尾城に関しましては、このワークショップとは別に、チラシの左下に小さく紹介しておりますが、11月17日に県立大学の学生達が七尾城の本丸跡を戦場に見立て、安全な弓矢を使用したアーチェリーハントというサバイバルゲームのようなものを企画しております。

お時間がありましたら、是非、参加していただきたいと思います。

渡辺委員 この七尾城跡の所有者は個人でしょうか、それとも市でしょうか。

木原課長 住吉神社の境内地と、益田市の市有地と、民間の個人の方の所有と、法人の所有と、いろいろな方の所有になっております。

柳井教育長 それではよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

○平成30年10月学校給食献立について

柳井教育長 続きます、平成30年10月学校給食献立についてよろしく願
いします。

山本課長 10月の献立のテーマは、「魚について知り、おいしく食べよう」
でございます。このテーマに合わせて、10月は旬のサンマやサ
バ、あるいはアジやサゴシ等の魚をいろいろな味付けでおいしく食べ
られるような工夫をしております。

主な献立は、2日に益田市の食材を知ろう献立を予定しており、美
都町で採れる柚子や益田で作られた野菜を使った献立となっております。

10日には、目の愛護デーということで、目に良いと言われており
ますブルーベリーのゼリーを提供いたします。

それから、16日は、益田鹿足の共通献立を予定しており、24日
の日には、益田の食育の日ということで、益田産のキャベツ、卵、鶏
肉、干ししいたけ、ねぎなどを使用いたします。

それから、26日には、保・小・中連携献立になっており、栗ご飯
を提供いたします。

裏面は、食に関する指導の様子を紹介しておりますので、またご覧
いただけたらと思います。

柳井教育長 それではよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

柳井教育長 それでは、次回の日程を決めたいと思います。次回は10月29日
の9時30分から定例教育委員会を開催いたします。よろしくお願
いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。あり
がとうございました。

=終了時間 14時39分=